

滞在期間延長の条件について(看護師候補者)

別添1

滞在期間の延長を認めるに当たっての条件

EPAに基づくインドネシア人、フィリピン人及びベトナム人看護師・介護福祉士候補者の滞在期間の延長について
(平成31年2月22日閣議決定より)

平成29年度(2017年)入国の看護師候補者のうち、次のいずれにも該当する場合に限り、所要の手続き及び審査を経て、就労研修しながら協定に基づく滞在期間中の最後の国家試験の次年度の国家試験合格を目指すこと等を可能とするため、追加的に1年間の滞在を認めることができるものとする。

ア. 追加的な滞在期間における就労・研修は、協定に基づく受入れ機関との雇用契約に基づいて行われること。

イ. 候補者本人から令和2年度の国家試験合格に向けて精励するとの意思が表明されていること。

ウ. 受入れ機関により、令和2年度の国家試験合格を目指すため、候補者の特性に応じた研修改善計画が組織的に作成されていること。

エ. 受入れ機関により、令和2年度の国家試験合格に向けた受入れ体制を確保するとともに、上記計画に基づき適切な研修を実施するとの意思が表明されていること。

オ. 平成31年(令和元年)度の国家試験の得点が一定の水準以上の者であること。